

専門基礎分野

人体の構造と機能

授業科目	解剖生理学Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	解剖生理学Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		1年次	1	15		高村 圭 山内 英智			1年次	1	30		柳澤 秀之 安井 啓悟 保前 英希
学習目標	生命維持のための呼吸器の構造と呼吸の仕組みおよび心臓・血管系の構造と循環のしくみを学ぶ。						学習目標	情報を受け取り、判断し、その対応を司令する中枢神経（脳・脊髄）、動作を支える骨と筋肉及び栄養を体内に取り込む消化器のそれぞれの構造と機能について学ぶ。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	解剖生理学総論				講義	高村 圭 医師 帯広厚生病院 診療部長 実務経験：有 【試験配点】 50点	1	Ⅰ. 消化器系				講義	柳澤 秀之 医師 帯広厚生病院 主任部長 実務経験：有 【試験配点】 30点
2	Ⅰ. 呼吸器系						2	A. 口・咽頭・食道の構造と機能					
3	A. 呼吸器の構造						3	B. 腹部消化管の構造と機能					
4	1. 呼吸器の構造						4	C. 脾臓・肝臓の構造と機能					
5	2. 上気道						5	D. 腹膜					
6	3. 下気道と肺						6	Ⅱ. 骨格、筋系				講義	安井 啓悟 医師 帯広厚生病院 主任部長 実務経験：有 【試験配点】 30点
7	4. 胸膜・縦隔						7	A. 骨格とはどのようなものか					
8	B. 呼吸				8	B. 骨の連結 C. 骨格筋							
9	1. 内呼吸と外呼吸				9	D. 体幹の骨格と筋							
10	2. 呼吸器と呼吸運動				10	E. 上肢の骨格と筋				講義	保前 英希 医師 帯広厚生病院 副院長 実務経験：有 【試験配点】 40点		
11	3. 呼吸気量				11	F. 下肢の骨格と筋							
12	4. ガス交換とガスの運搬				12	G. 頭頸部の骨格と筋							
13	5. 肺の循環と血流				13	H. 筋の収縮				講義	保前 英希 医師 帯広厚生病院 副院長 実務経験：有 【試験配点】 40点		
14	6. 呼吸運動の調節				14	Ⅲ. 神経系							
15	7. 呼吸器系の病態生理				15	A. 神経系の構造と機能							
4	Ⅱ. 循環器系				講義	山内 英智 医師 帯広厚生病院 診療部長 実務経験：有 【試験配点】 50点	16	B. 脊髄と脳				講義	保前 英希 医師 帯広厚生病院 副院長 実務経験：有 【試験配点】 40点
5	A. 循環器系の構造						17	C. 脊髄神経と脳神経					
6	B. 心臓の構造						18	D. 脳の高次機能					
7	C. 心臓の拍出機能						19	E. 運動機能と下行伝導路					
8	D. 末梢循環系の構造						20	F. 自律神経による調節					
8	E. 血液の循環と調節				21	試験							
8	試験						22	試験					
テキスト	人体の構造と機能[1]解剖生理学／医学書院						テキスト	人体の構造と機能[1]解剖生理学／医学書院					
評価方法	試験						評価方法	試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

専門基礎分野

人体の構造と機能

授業科目	解剖生理学Ⅲ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	生化学	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		1年次	1	30		山本 修司 小林 一 柳谷 真悟 保前 英希 内野 秀紀			1年次	1	30		石井 利明
学習目標	生体の恒常性を維持するための体液・電解質、ホルモン、及び体内の物質運搬を行う血液に関する器官の構造と機能を学ぶ。また、血液を浄化する腎臓の構造と機能を学ぶ。						学習目標	生命現象や生体機能の動的な把握のため、生体を構成する物質の特性や合成、分解、相互変化などの代謝のしくみを学ぶ。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	I. 体液とホメオスタシス				講義	山本 修司 医師 帯広厚生病院 救命救急 センター長 実務経験：有 【試験配点】 30点	1	I. 生体を構成する物質				講義	石井 利明 帯広畜産大学 教授 実務経験：有
2	A. 体液						2	1. 糖質					
3	B. 内部環境とホメオスタシス						3	①糖質の種類					
4	II. 体液の調節						4	②単糖の構造と性質					
5	A. 水の出納 B. 脱水 電解質異常						5	③二糖の構造と性質					
6	C. 酸塩基平衡				6	2. 脂質							
7	III. 体温とその調節				7	①脂質の構造							
8	A. 熱の出納				8	②リポたんぱく質 ・リン脂質							
9	B. 体温の分布と測定				9	3. たんぱく質							
10	C. 体温調節・発熱・高体温・低体温				10	①アミノ酸の種類と構造							
11	IV. 血液				11	②たんぱく質の構造・特徴・分類							
12	A. 血液の組成と機能				12	4. 核酸							
13	B. 赤血球・白血球・血小板				13	・基質特異性 ・反応速度							
14	C. 血漿タンパク質と赤血球沈降速度				14	①DNA							
15	D. 血液の凝固と線維素溶解 E. 血液型				15	②RNA							
16	V. リンパとリンパ管				16	③ヌクレオシドとヌクレオチド							
17	VI. 生体の防御機構				17	④ADPとATP							
18	A. 非特異的防御機構				18	ミトコンドリア 電子伝達系							
19	B. 特異的防御機構ー免疫				19	5. ホルモン							
20	C. 生体防御の関連臓器				20	・ホルモンの種類と作用機序							
21	VII. 内分泌系による調節				講義	柳谷 真悟 医師 帯広厚生病院 医長 実務経験：有 【試験配点】 20点	21	II. 生体内の物質代謝					
22	A. 内分泌系による調節				22	1. 酵素							
23	内分泌とホルモン				23	①酵素反応							
24	ホルモンの化学構造と作用機序				24	②酵素反応の阻害							
25	B. 全身の内分泌腺と内分泌細胞				25	2. 糖質代謝							
26	視床下部ー下垂体 甲状腺と副甲状腺				26	3. 脂質代謝							
27	膵臓・副腎・性腺				27	4. たんぱく質代謝							
28	C. ホルモン分泌の調節				28	・栄養状態の評価							
29	D. ホルモンによる調節の実際				29	III. 遺伝情報とその発現							
30	VIII. 感覚機能と上行伝導路				講義	保前 英希 医師 帯広厚生病院 副院長 実務経験：有 【試験配点】 10点	30	1. 遺伝情報					
31	A. 感覚の種類・性質				31								
32	B. 上行（求心）伝導路				32								
33	IX. 味覚と嗅覚				33								
34	A. 味覚器・嗅覚器				34								
35	X. 痛み（疼痛）				35								
36	XI. 体液の調節と尿の生成				講義	内野 秀紀 医師 帯広厚生病院 主任部長 実務経験：有 【試験配点】 20点	36						
37	A. 腎臓				37								
38	1. 腎臓の構造・機能				38								
39	2. 糸球体の構造と機能				39								
40	3. 尿細管の構造と機能				40								
41	4. 傍糸球体装置				41								
42	5. クリアランスと糸球体濾過量				42								
43	6. 腎臓から分泌される生理活性物質				43								
44	B. 排尿路				44								
45	1. 排尿路の構造 2. 尿の貯蔵と排尿				45								
46	試験						46	試験					
テキスト	人体の構造と機能[1]解剖生理学/医学書院						テキスト	人体の構造と機能[2]生化学/医学書院					
評価方法	試験						評価方法	試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

専門基礎分野

人体の構造と機能

授業科目	栄養学	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		1年次	1	15		福島 道広		
学習目標	<p>生体が発育・成長し、生命維持や生活活動に必要な栄養の意義を理解し、各栄養素の働きについて学ぶ。</p>							
回数	授業計画・授業内容			授業方法	講師/実務経験			
1	I. 栄養学とは 1. 栄養と栄養素			講義	福島 道広 帯広畜産大学 副学長 実務経験：無			
2	2. 栄養の定義と栄養学の歴史							
3	II. 栄養素の種類と働き 1. 炭水化物の栄養学的意義							
4	2. 糖質の栄養学的意義							
5	3. たんぱく質の栄養学的意義							
6	4. ミネラルの栄養学的意義							
7	5. 脂質の栄養学的意義							
8	6. 水の栄養学的意義							
9	7. エネルギー代謝			演習				
10	III. 食事摂取基準と栄養所要量 日本人の食事摂取基準・健康づくりと食品、食生活							
11	IV. 栄養状態（学生自身の食事内容） の評定・評価							
12	V. ライフステージと栄養 ・乳児期、幼児期における栄養 ・学童期・思春期・青年期 ・成人期・妊娠期・授乳期							
13	試験							
テキスト	人体の構造と機能[3]栄養学/医学書院 新ビジュアル食品成分表 新訂第2版/大修館書店							
評価方法	試験							
先修条件	なし							